

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イン・トゥー・イシオン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：イン・トゥー・イシオン

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：プレジジョン

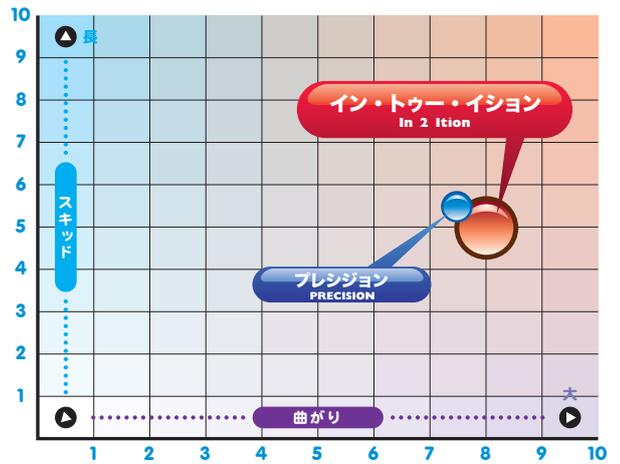
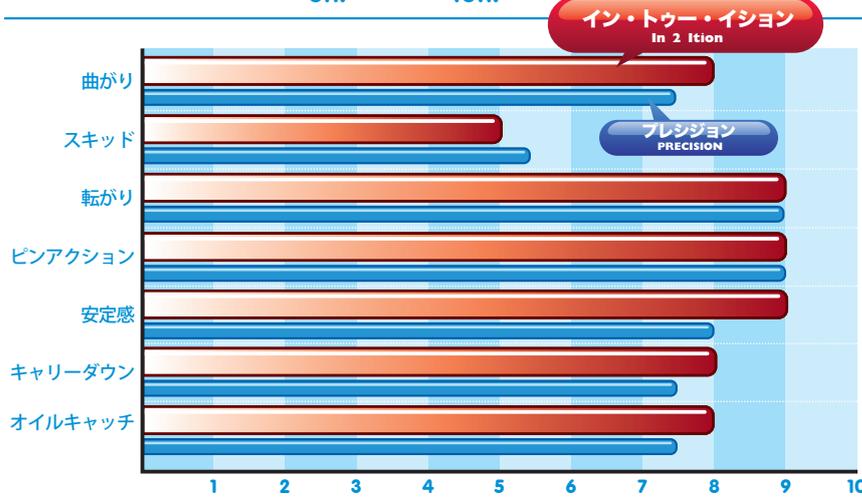
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今までのTRACK社のイメージと違うぞ?と走りの中にもしっかりとキャッチを感じ、一見走りそうに見えるスキッドも、他のボールと比較投球するとIN2ITIONの方が曲がる!キャッチするけどやや遅れて先で動く。何だろうこのボール?これがIN2ITIONを初めて投げた印象でした。

High Performance領域のPrimeカバーストックをDT(Delayed Traction)というキャッチのエネルギーを先まで蓄積させるカバーを新開発し、RGが低めに設定されたX-Type Coreという新しいコアテクノロジーが今までのTRACK社のイメージを変化させるリアクションを実現させています。しっかりと転がっているのに走りを感じる。そのうえキャッチは弱めどころか強く感じる。なのに先で明確に動く感じが前面に出ている。まさにTRACK社は私がテストした通りのイメージを開発のコンセプトにしたと思います。低めのRGが手前からの転がりを助けているので、暴れる感じのリアクションというよりは、しっかりラインをだしてくれる、扱いやすさと動き双方を兼ね備えているので、私は一気にIN2ITIONのファンになりました。Columbia300とTRACKという垣根を外してEBONITE INTERNATIONAL(EBI)というくくりで考えると、私はEBIのボールだけで十分レポートリーが組めるほど充実していると思います。RESURGENCE、CHAOS BLACKかSAVAGE Lifeその後IN2ITION、TACTIX Hybridという図式が描けるので中盤からやや下の領域は盤石。まさに中盤を埋めるに相応しいところにIN2ITIONが入ってきました。フランチャイズのコンディションでは中心的な役割で長く使える領域ですので、まずは投げて頂いて良さを感じて欲しいです。身近な感覚だとCYBORG Pearlのキャッチと動きが大きくなったイメージとでも言いましょうか、キッチリラインがでる感じが投げると感じて頂けるでしょう。しっかりと先で動きを感じるのに投げやすくラインが取りやすい。スキッドとキャッチのバランスが良く、多くの方が気に入るスペックに仕上がっています。

特記事項

トーナメントでもフランチャイズのコンディションでもベンチマーク的な役割をなすボール。使用できる領域が広いのでバックの中に入れておきたいボールだと思います。